



2020年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2019年10月31日  
日本通運 株式会社

## 本日の説明内容とポイント

1. 2020年3月期上期業績に関する評価と今後の見通しについて  
日通グループ経営計画2023の進捗について  
代表取締役社長 齋藤 充
2. 2020年3月期第2四半期決算と今後の見通しについて  
取締役 増田 貴
3. 重点産業の進捗と航空事業の見通しについて  
代表取締役副社長  
ビジネスソリューション部門総括 石井 孝明
4. 社員制度改革の今期影響の修正について  
代表取締役副社長  
コーポレートソリューション部門総括 竹津 久雄
5. 支店組織大括り化後のロードマップについて  
代表取締役副社長  
日本事業部門総括 秋田 進

## 本日の説明内容とポイント

1. 2020年3月期上期業績に関する評価と今後の見通しについて  
日通グループ経営計画2023の進捗について  
代表取締役社長 齋藤 充
2. 2020年3月期第2四半期決算と今後の見通しについて  
取締役 増田 貴
3. 重点産業の進捗と航空事業の見通しについて  
代表取締役副社長  
ビジネスソリューション部門総括 石井 孝明
4. 社員制度改革の今期影響の修正について  
代表取締役副社長  
コーポレートソリューション部門総括 竹津 久雄
5. 支店組織大括り化後のロードマップについて  
代表取締役副社長  
日本事業部門総括 秋田 進

# I. 2020年3月期第2四半期 業績

## A 2020年3月期第2四半期 決算概要

### 1. 概要(連結)

(単位: 億円、%)

| 項目                   | 2020/3期<br>第2四半期<br>累計実績 | 2019/3期<br>第2四半期<br>累計実績 | 増減額<br>(前年比) | 増減率<br>(前年比) | 第2四半期<br>累計予想<br>(7/31発表) | 差額   | 達成率   |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|--------------|--------------|---------------------------|------|-------|
| 売上高                  | 10,389                   | 10,403                   | △13          | △0.1         | 10,500                    | △110 | 98.9  |
| 営業利益                 | 291                      | 340                      | △48          | △14.4        | 270                       | 21   | 107.9 |
| 経常利益                 | 328                      | 377                      | △49          | △13.1        | 300                       | 28   | 109.4 |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 190                      | 234                      | △44          | △18.9        | 170                       | 20   | 111.8 |

(億円未満切捨て)

### 2. 連結経営指標

- 売上高営業利益率 2.8% (3.3%)
  - 売上高経常利益率 3.2% (3.6%)
- ( )は、前年同期実績
- 【ご参考】( )は前年度実績
- ROA 2.9% (3.2%)
  - ROE 8.4% (9.2%)

(注) 当期純利益は、通期予想で算出しております。

・海外は、世界景気の不透明感が色濃く残り、航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要の低迷による売上高減少を、倉庫配送業務やトラック輸送、海運などがカバー。

・日本は、国内貨物では、消費関連貨物や設備関連貨物を中心に堅調に推移。自動車、海運、倉庫、引越・移転事業などの取扱いが伸長。国際貨物では、全世界において、一般機械や電子機器関連、自動車関連のアジア向けを中心とした航空貨物需要の鈍化した市場環境において、当社の航空貨物の取扱いも、総じて荷動きが緩慢。

・社員制度改革における同一労働・同一賃金の影響、賞与支給対象期間の変更に伴う人件費増が大きく、昨年度の自然災害における反動増や燃油費単価影響による増益要因はあったものの、減益。

・7月公表の第2四半期累計予想比較では、売上高は未達、営業利益、経常利益、四半期純利益は、アカウント営業・ワンストップ営業の効果による堅調な国内事業と、継続的な料金改定効果、事務・生産性の向上に伴う超勤削減などにより、予想を上振れ。

・特別利益は、前年に実施した資産売却が影響し、13億円減少。

・特別損失は、前年比で既存の建物の解体費用などが大きく影響し、17億円増加。

## 組織改正(2019年4月15日付) 全社を4部門・7本部に再編

We Find the Way  
NIPPON EXPRESS

ビジネス  
ソリューション部門

・グローバル営業戦略本部  
・海外事業本部

コア事業の成長戦略、  
グループ全体の営業活動と  
海外事業の推進

日本事業部門

・日本事業本部  
・ネットワーク商品事業本部

日本事業の強靱化戦略と  
ネットワーク事業の推進

コーポレート  
ソリューション部門

・コーポレートサポート本部  
・CSR本部

事業活動のサポート、  
安全衛生とCSR経営の推進

経営戦略部門

・経営戦略本部

グループ全体の経営戦略、  
事業ポートフォリオの見直し、  
ガバナンスの強化等

「非連続な成長」の実現

経営計画の各施策を迅速に  
推進する体制構築

スピード感を持った  
決断・実行

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

3

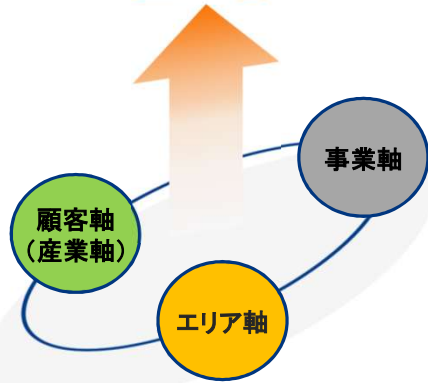
### ◇組織改正

- ・新しくスタートした経営計画の施策をスピード感を持って実行していくため、具体的に実施する部門と本部を明確に。
- ・社長と各副社長を4部門のリーダーとし、責任をもって各施策を推進。

# コア事業の成長戦略

強みである「日本」で培った、顧客基盤・事業をグローバルに成長させる

## 売上の増大



支える管理機能と仕組み

### 重点施策

#### 顧客(産業)軸アプローチ

- ワンストップ営業・アカウント営業／アカウントマネジメント
- 産業・業種別の取組み
- EC市場の拡大による変化への対応
- 非日系顧客への営業拡大

#### 事業軸アプローチ

- フォワーディング事業
- ロジスティクス事業
- ネットワーク商品事業
- パッケージング・ソリューション事業

#### エリア軸アプローチ

- 日本
- 米州エリア
- 欧州エリア
- 東アジアエリア
- 南アジア・オセアニアエリア

#### 3つの営業アプローチを支える管理機能と仕組み

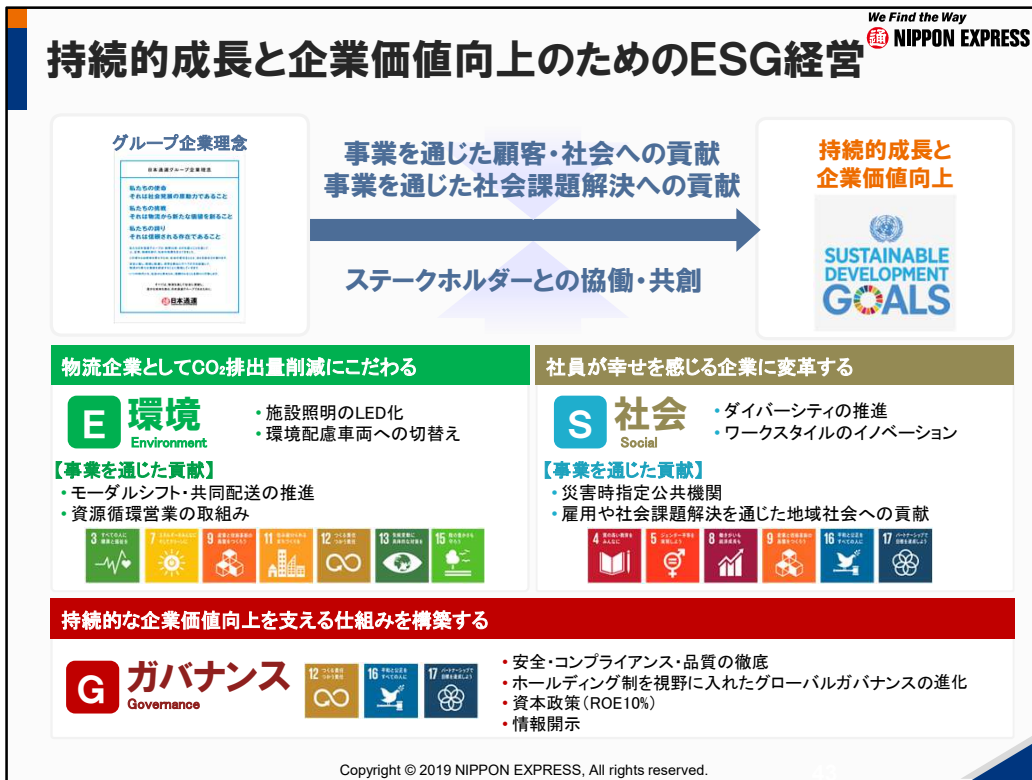
- 売上・営業データに基づく営業活動支援システムの構築
- 営業プロセスKPIの導入
- グループの営業支援基盤強化

## ◇コア事業の成長戦略

・顧客(産業)軸として、具体的なKPIを定め、目標数値を公表しているとおおり、重点産業として定めた5産業を中心に、国内、海外で営業を推進するための様々な取組みを推進。

・事業軸として、2020年3月期の航空・海運フォワーディング数量の数値目標を設定。  
特に、海運事業は、様々な改革を推進。数量も順調に伸長し、効果が出始める。

・エリア軸として、将来、成長が見込まれるインド市場でのさらなる拡大を目指し、Future Supply Chain Solution Limited 社に資本参加。  
これまでの国際間フォワーディング事業に加え、消費財を中心としたインド国内の物流事業の強化を目指す。



### ◇持続的成長と企業価値向上のためのESG経営

- ・「安全・コンプライアンス・品質」の徹底は、これまでも、これからも、経営の最重要課題の一つとして取り組む。
- ・ダイバーシティの推進等、多様で柔軟な働き方を実現し、長時間労働になりがちな従来の働き方から脱却することで、仕事の生産性を向上させていく取組みが進行。出勤時間の削減が進み、総人件費の減少効果として表面化。
- ・今回導入した新たな社員制度を土台に、従業員一人ひとりが持つ力を最大限に発揮できるワークスタイルへと変革することが重要であり、過去の慣習や考え方に固執することなく、主体的・積極的に職務に取り組み、新たなことにチャレンジすることで、誰もがやりがいを感じ、仕事を通じて幸せを感じることができる会社にするための様々な取組みが進行。
- ・特に、社員制度改革の一部として、法制度に先駆け、同一労働・同一賃金への対応を進め、これには大きなコストがかかるものの、人手不足に対する対応、現場で働く社員の環境を改善するためにも必要な施策と判断し、取り組む。

# 日通グループ経営計画2023

## ～ 非連続な成長 “Dynamic Growth” ～

- ・顧客(産業)軸・事業軸・エリア軸の3軸アプローチを**コア事業の成長戦略**とする。
- ・成長戦略の基盤となる高い収益性を実現することを**日本事業の強靱化戦略**とする。
- ・M&Aをグローバル経営基盤の強化・拡充を成し遂げるための**非連続な成長戦略**と位置付ける。
- ・グローバルガバナンスをはじめとした**持続的成長と企業価値向上のためのESG経営**を確立する。



- ・現経営計画がスタートし、半年が経過したが、  
定めた施策について、スピード感を持って取り組んでおり、  
まずは、順調なスタートを切ることができた。



### Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

#### A 連結業績予想

(単位:億円、%) (億円未満切捨て)

| 項目                      | 上期           |              |                | 下期           |              |                | 通期           |              |                 |
|-------------------------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|-----------------|
|                         | 2020/3<br>実績 | 2019/3<br>実績 | 増減額<br>(増減率)   | 2020/3<br>予想 | 2019/3<br>実績 | 増減額<br>(増減率)   | 2020/3<br>予想 | 2019/3<br>実績 | 増減額<br>(増減率)    |
| 売上高                     | 10,389       | 10,403       | △13<br>(△0.1)  | 10,710       | 10,981       | △271<br>(△2.5) | 21,100       | 21,385       | △285<br>(△1.3)  |
| 営業利益<br>(営業利益率)         | 291<br>(2.8) | 340<br>(3.3) | △48<br>(△14.4) | 388<br>(3.6) | 455<br>(4.1) | △67<br>(△14.7) | 680<br>(3.2) | 795<br>(3.7) | △115<br>(△14.6) |
| 経常利益                    | 328          | 377          | △49<br>(△13.1) | 401          | 480          | △78<br>(△16.3) | 730          | 858          | △128<br>(△14.9) |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 190          | 234          | △44<br>(△18.9) | 259          | 258          | 1<br>(0.4)     | 450          | 493          | △43<br>(△8.8)   |

| 項目              | 上期           |              |                | 下期           |              |                | 通期           |              |                |
|-----------------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|----------------|
|                 | 2020/3<br>実績 | 7/31<br>予想   | 増減額<br>(増減率)   | 2020/3<br>予想 | 7/31<br>予想   | 増減額<br>(増減率)   | 2020/3<br>予想 | 7/31<br>予想   | 増減額<br>(増減率)   |
| 売上高             | 10,389       | 10,500       | △110<br>(△1.1) | 10,710       | 11,000       | △289<br>(△2.6) | 21,100       | 21,500       | △400<br>(△1.9) |
| 営業利益<br>(営業利益率) | 291<br>(2.8) | 270<br>(2.6) | 21<br>(7.9)    | 388<br>(3.6) | 410<br>(3.7) | △21<br>(△5.2)  | 680<br>(3.2) | 680<br>(3.2) | —              |

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

21

#### ◇前回予想との比較

- ・7月31日公表の通期予想と比較して、  
売上高 400億円下方に修正、  
営業利益、経常利益、当期純利益、それぞれ据え置き。

- ・連結全体の営業利益は、下期の営業利益が、7月公表の通期予想と比較して、21億円下振れすると見込み、上期の上振れ分が打ち消されることから、通期の営業利益、経常利益、当期純利益を、据え置き。

#### ◇業績予想の修正理由

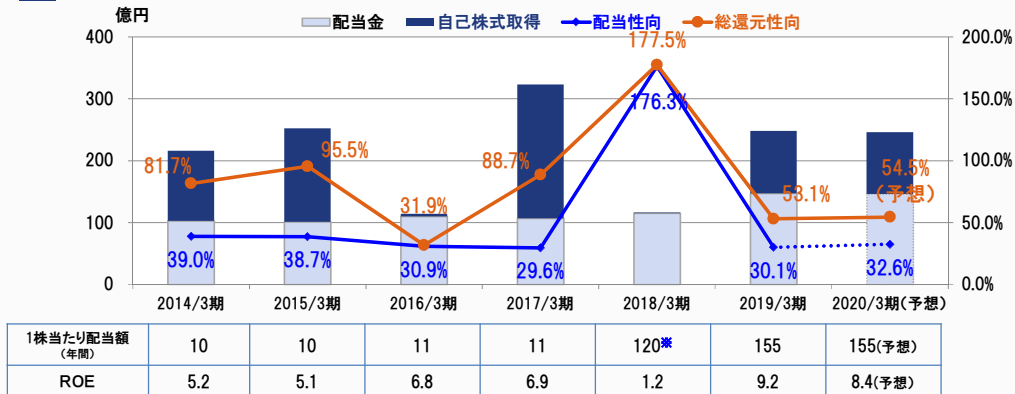
- ・世界の貿易量の縮小と、それによりもたらされる製造業の不振が要因。  
米中貿易摩擦の影響が、世界規模に拡大している構図。  
この景気の下押し要因が顕在化し、航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷、需要の回復には、さらに時間がかかると想定し、売上高の予想数値を修正。
- ・日本国内経済も、世界経済の悪化の影響が、徐々に日本国内にも波及しつつあり、製造業だけでなく、非製造業についても、景況感が悪化、先行きは、非常に不透明。
- ・このような状況を鑑み、海外全体での営業利益は、下期は悪化と想定し、7月公表の通期予想比較、通期予想を22億円下方修正。
- ・一方、国内事業は、超勤削減効果が継続すると見込むものの、下期の荷動きは、上期と比較して、厳しい状況を予測。  
下期の営業利益は、7月公表の通期予想と比較して、  
上期同様の上振れは、見込まず。

## V. 株主還元

### A 資本政策

- ROE 10%
- 配当性向 30%以上
- 総還元性向 50%以上(2019~2023年度累計)
- 自己資本比率 35%程度

### B 各種実績推移



※ 2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしましたので、2018年3月期以降の配当額については、当該株式併合を考慮した金額で記載しております。

### ◇総還元性向

- 経営計画2023で定めた5年累計で、50%以上としており、その達成に向け、11月1日から100億円を上限として、自己株式の取得を実施。
- これにより、2020年3月期における総還元性向は、54%を超える見込み。

## 本日の説明内容とポイント

1. 2020年3月期上期業績に関する評価と今後の見通しについて  
日通グループ経営計画2023の進捗について  
代表取締役社長 齋藤 充
2. 2020年3月期第2四半期決算と今後の見通しについて  
取締役 増田 貴
3. 重点産業の進捗と航空事業の見通しについて  
代表取締役副社長  
ビジネスソリューション部門総括 石井 孝明
4. 社員制度改革の今期影響の修正について  
代表取締役副社長  
コーポレートソリューション部門総括 竹津 久雄
5. 支店組織大括り化後のロードマップについて  
代表取締役副社長  
日本事業部門総括 秋田 進

# I. 2020年3月期第2四半期 業績

## B セグメント別実績

(単位:億円、%)

| セグメント          | 項目      | 2020/3期<br>第2四半期<br>累計実績 | 2019/3期<br>第2四半期<br>累計実績 | 増減額<br>(前年比) | 増減率<br>(前年比) | 第2四半期<br>累計予想<br>(7/31発表) | 差額  | 達成率   |
|----------------|---------|--------------------------|--------------------------|--------------|--------------|---------------------------|-----|-------|
| 日本             | 売上高     | 6,103                    | 6,157                    | △54          | △0.9         | 6,196                     | △92 | 98.5  |
|                | セグメント利益 | 205                      | 238                      | △32          | △13.7        | 186                       | 19  | 110.7 |
| 米州             | 売上高     | 477                      | 472                      | 5            | 1.1          | 475                       | 2   | 100.6 |
|                | セグメント利益 | 19                       | 22                       | △2           | △13.3        | 20                        | △0  | 96.4  |
| 欧州             | 売上高     | 588                      | 559                      | 28           | 5.2          | 595                       | △6  | 99.0  |
|                | セグメント利益 | 12                       | 7                        | 5            | 69.7         | 13                        | △0  | 94.4  |
| 東アジア           | 売上高     | 559                      | 588                      | △29          | △5.0         | 554                       | 5   | 101.0 |
|                | セグメント利益 | 15                       | 11                       | 4            | 34.5         | 14                        | 1   | 111.6 |
| 南アジア・<br>オセアニア | 売上高     | 441                      | 444                      | △3           | △0.8         | 439                       | 2   | 100.5 |
|                | セグメント利益 | 15                       | 19                       | △3           | △18.2        | 20                        | △4  | 79.1  |
| 警備輸送           | 売上高     | 364                      | 359                      | 4            | 1.2          | 368                       | △3  | 99.0  |
|                | セグメント利益 | △12                      | 2                        | △15          | —            | △19                       | 6   | —     |
| 重量品建設          | 売上高     | 272                      | 248                      | 23           | 9.6          | 270                       | 2   | 100.9 |
|                | セグメント利益 | 26                       | 20                       | 5            | 27.7         | 22                        | 4   | 121.2 |
| 物流<br>サポート     | 売上高     | 2,283                    | 2,285                    | △2           | △0.1         | 2,366                     | △82 | 96.5  |
|                | セグメント利益 | 57                       | 57                       | 0            | 0.3          | 58                        | △0  | 99.6  |

(億円未満切捨て)



## Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

### B 米州セグメント

1. 2Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

| 項目    | 2020/3期<br>実績 | 前年同期対比  |     |       | 2Q概況   |
|-------|---------------|---------|-----|-------|--|
|       |               | 2019/3期 | 増減額 | 増減率   |  |
| 売上高   | 237           | 240     | △3  | △1.3  | 海運輸出は、新規案件や既存顧客の取扱増。<br>倉庫配送業務や自動車運送でも、既存顧客の取扱増。<br>航空輸出は、自動車関連の減などの影響が大きく、減収。<br>航空輸出減少による利用費減、人件費等の管理コストの圧縮を図ったが、減益。 |
| 営業利益※ | 10(4.5)       | 13(5.7) | △3  | △22.1 |  |

### 2. 単四半期実績・見通し推移

| 項目    | 2020/3期 実績・見通し          |             |             |         |        |              |             | 特殊要因   |
|-------|-------------------------|-------------|-------------|---------|--------|--------------|-------------|--|
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q予想    | 4Q予想   | 下期予想         | 通期予想        |  |
| 売上高   | 240                     | 237         | 477         | —       | —      | 459          | 937         | ・為替影響:[売上高]△14(年間)、+5(上期)<br>[営業利益]△0(年間)、+0(上期)                               |
| 営業利益※ | 8(3.6)                  | 10(4.5)     | 19(4.0)     | —       | —      | 19(4.3)      | 39(4.2)     |  |
| 項目    | 2019/3期 実績              |             |             |         |        |              |             | 見通し概況  |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q      | 4Q     | 下期           | 通期          |  |
| 売上高   | 231                     | 240         | 472         | 251     | 262    | 514          | 986         | 世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。<br>航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。<br>回復は、さらに時間を要すると想定。 |
| 営業利益※ | 8(3.7)                  | 13(5.7)     | 22(4.7)     | 11(4.7) | 8(3.3) | 20(4.0)      | 42(4.3)     |  |
| 項目    | 前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率) |             |             |         |        |              |             |  |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q予想    | 4Q予想   | 下期予想         | 通期予想        |  |
| 売上高   | 8<br>3.7                | △3<br>△1.3  | 5<br>1.1    | —       | —      | △55<br>△10.8 | △49<br>△5.1 |  |
| 営業利益  | 0<br>0.6                | △3<br>△22.1 | △2<br>△13.3 | —       | —      | △0<br>△3.3   | △3<br>△8.5  |  |

### 3. 業績予想推移

| 項目    | 通期業績予想比較 |         |     | 上期業績予想比較 |         |     | 下期業績予想比較 |         |     |
|-------|----------|---------|-----|----------|---------|-----|----------|---------|-----|
|       | 今回予想     | 前回予想    | 増減額 | 実績       | 前回予想    | 増減額 | 今回予想     | 前回予想    | 増減額 |
| 売上高   | 937      | 997     | △60 | 477      | 475     | 2   | 459      | 522     | △62 |
| 営業利益※ | 39(4.2)  | 47(4.7) | △8  | 19(4.0)  | 20(4.2) | △0  | 19(4.3)  | 27(5.2) | △7  |

#### ◇2Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・海運輸出が、新規案件や既存顧客の取扱い増加。
- ・倉庫配送業務や自動車運送でも、既存顧客の取扱い増加。
- ・航空輸出で、自動車関連の減少などの影響が大きく減収。
- ・航空輸出減少による利用費減、人件費等の管理コストの圧縮を図るも減益。

## Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

### C 欧州セグメント

1. 2Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

| 項目    | 2020/3期<br>実績 | 前年同期対比  |     |       | 2Q概況  |
|-------|---------------|---------|-----|-------|---|
|       |               | 2019/3期 | 増減額 | 増減率   |   |
| 売上高   | 289           | 274     | 15  | 5.6   | 航空輸出が、ドイツでの自動車関連、ベルギーでの既存顧客の取扱い減少。一方、倉庫配送業務で、新規取扱いが開始。<br>海運・自動車も堅調に推移。<br>費用面では、引き続き人件費が高止まったものの、増益。 |
| 営業利益※ | 4(1.7)        | 1(0.6)  | 3   | 202.8 |   |

### 2. 単四半期実績・見直し推移

| 項目    | 2020/3期 実績・見直し          |            |           |        |         |           |           | 特殊要因   |
|-------|-------------------------|------------|-----------|--------|---------|-----------|-----------|--|
|       | 1Q                      | 2Q         | 上期        | 3Q予想   | 4Q予想    | 下期予想      | 通期予想      |  |
| 売上高   | 298                     | 289        | 588       | —      | —       | 610       | 1,199     | ・為替影響: [売上高]△78(年間)、△31(上期)<br>【営業利益】△2(年間)、△1(上期)                             |
| 営業利益※ | 7(2.4)                  | 4(1.7)     | 12(2.1)   | —      | —       | 15(2.6)   | 28(2.3)   |  |
| 項目    | 2019/3期 実績              |            |           |        |         |           |           | 見直し概況  |
|       | 1Q                      | 2Q         | 上期        | 3Q     | 4Q      | 下期        | 通期        |  |
| 売上高   | 285                     | 274        | 559       | 274    | 313     | 588       | 1,148     | 世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。<br>航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。<br>回復は、さらに時間を要すると想定。 |
| 営業利益※ | 5(2.0)                  | 1(0.6)     | 7(1.3)    | 4(1.7) | 10(3.5) | 15(2.6)   | 22(2.0)   |  |
| 項目    | 前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率) |            |           |        |         |           |           |  |
|       | 1Q                      | 2Q         | 上期        | 3Q予想   | 4Q予想    | 下期予想      | 通期予想      |  |
| 売上高   | 13<br>4.8               | 15<br>5.6  | 28<br>5.2 | —      | —       | 21<br>3.7 | 50<br>4.4 |  |
| 営業利益  | 1<br>30.7               | 3<br>202.8 | 5<br>69.7 | —      | —       | 0<br>1.6  | 5<br>23.3 |  |

### 3. 業績予想推移

| 項目    | 通期業績予想比較 |         |     | 上期業績予想比較 |         |     | 下期業績予想比較 |         |     |
|-------|----------|---------|-----|----------|---------|-----|----------|---------|-----|
|       | 今回予想     | 前回予想    | 増減額 | 実績       | 前回予想    | 増減額 | 今回予想     | 前回予想    | 増減額 |
| 売上高   | 1,199    | 1,229   | △30 | 588      | 595     | △6  | 610      | 634     | △23 |
| 営業利益※ | 28(2.3)  | 30(2.4) | △2  | 12(2.1)  | 13(2.2) | △0  | 15(2.6)  | 17(2.7) | △1  |

#### ◇2Q単四半期の概況(増収、増益)

- ・航空輸出が、ドイツでの自動車関連、ベルギーでの既存顧客の取扱い減少。
- ・倉庫配送業務で、Franco Vago社、Traconf社、ドイツ日通などで、新規に取扱い開始。
- ・海運・自動車も、堅調に推移。
- ・費用面では、引き続き人件費が高止まり。

## Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

### D 東アジアセグメント

1. 2Q単四半期実績 (単位:億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

| 項目    | 2020/3期<br>実績 | 前年同期対比  |     |      | 2Q概況   |
|-------|---------------|---------|-----|------|--|
|       |               | 2019/3期 | 増減額 | 増減率  |  |
| 売上高   | 283           | 304     | △21 | △6.9 | 中国を中心とした国際貨物輸送需要低迷で航空輸出が減少。<br>海運・倉庫配送業務は増収だったが、全体では減収。<br>航空利用費について、特に、香港日通で仕立ての効率化による<br>費用の抑制が進行。 |
| 営業利益※ | 9(3.3)        | 7(2.5)  | 1   | 20.2 |  |

### 2. 単四半期実績・見直し推移

| 項目    | 2020/3期 実績・見直し          |             |             |        |         |             |             | 特殊要因   |
|-------|-------------------------|-------------|-------------|--------|---------|-------------|-------------|--|
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q予想   | 4Q予想    | 下期予想        | 通期予想        |  |
| 売上高   | 275                     | 283         | 559         | —      | —       | 580         | 1,140       | ・為替影響:【売上高】△57(年間)、△19(上期)<br>【営業利益】△1(年間)、△0(上期)                              |
| 営業利益※ | 6(2.3)                  | 9(3.3)      | 15(2.8)     | —      | —       | 15(2.6)     | 31(2.7)     |  |
| 項目    | 2019/3期 実績              |             |             |        |         |             |             | 見直し概況  |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q     | 4Q      | 下期          | 通期          |  |
| 売上高   | 283                     | 304         | 588         | 308    | 331     | 639         | 1,227       | 世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。<br>航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。<br>回復は、さらに時間を要すると想定。 |
| 営業利益※ | 3(1.4)                  | 7(2.5)      | 11(2.0)     | 8(2.6) | 10(3.1) | 18(2.9)     | 30(2.5)     |  |
| 項目    | 前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率) |             |             |        |         |             |             |  |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q予想   | 4Q予想    | 下期予想        | 通期予想        |  |
| 売上高   | △8<br>△2.8              | △21<br>△6.9 | △29<br>△5.0 | —      | —       | △58<br>△9.1 | △87<br>△7.1 |  |
| 営業利益  | 2<br>63.3               | 1<br>20.2   | 4<br>34.5   | —      | —       | △3<br>△16.7 | +0<br>3.1   |  |

### 3. 業績予想推移

| 項目    | 通期業績予想比較 |         |     | 上期業績予想比較 |         |     | 下期業績予想比較 |         |     |
|-------|----------|---------|-----|----------|---------|-----|----------|---------|-----|
|       | 今回予想     | 前回予想    | 増減額 | 実績       | 前回予想    | 増減額 | 今回予想     | 前回予想    | 増減額 |
| 売上高   | 1,140    | 1,210   | △70 | 559      | 554     | 5   | 580      | 656     | △75 |
| 営業利益※ | 31(2.7)  | 33(2.7) | △2  | 15(2.8)  | 14(2.5) | 1   | 15(2.6)  | 19(2.9) | △3  |

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

16

### ◇2Q単四半期の概況(減収、増益)

- ・中国を中心とした国際貨物輸送需要の低迷による、航空輸出の減少したことに伴い、売上高が大きく減少。
- ・海運・倉庫では増収であったものの、全体では減収。
- ・航空利用費は、香港日通で仕立ての効率化による費用の抑制が進み、利益面では大きく改善。



## Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

### E 南アジア・オセアニアセグメント

(単位:億円、%)  
※( )内は営業利益率(%)

#### 1. 2Q単四半期実績

| 項目    | 2020/3期<br>実績 | 前年同期対比  |     |       | 2Q概況   |
|-------|---------------|---------|-----|-------|--|
|       |               | 2019/3期 | 増減額 | 増減率   |  |
| 売上高   | 221           | 226     | △5  | △2.2  | 海運が引き続き堅調。倉庫配送業務において、自動車関連や<br>アパレル関連を中心に堅調に推移。<br>航空輸出がスポットの反動減の影響により減収。<br>利益面は、人件費など固定費が引き続き増加傾向。 |
| 営業利益※ | 8(3.8)        | 10(4.7) | △2  | △21.2 |  |

#### 2. 単四半期実績・見直し推移

| 項目    | 2020/3期 実績・見直し          |             |             |         |        |            |             | 特殊要因   |
|-------|-------------------------|-------------|-------------|---------|--------|------------|-------------|--|
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q予想    | 4Q予想   | 下期予想       | 通期予想        |  |
| 売上高   | 219                     | 221         | 441         | -       | -      | 464        | 906         | ・為替影響:【売上高】△15(年間)、△5(上期)<br>【営業利益】△0(年間)、△0(上期)                               |
| 営業利益※ | 7(3.4)                  | 8(3.8)      | 15(3.6)     | -       | -      | 17(3.7)    | 33(3.6)     |  |
| 項目    | 2019/3期 実績              |             |             |         |        |            |             | 見直し概況  |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q      | 4Q     | 下期         | 通期          |  |
| 売上高   | 218                     | 226         | 444         | 236     | 237    | 474        | 918         | 世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化。<br>航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が予想以上に低迷。<br>回復は、さらに時間を要すると想定。 |
| 営業利益※ | 8(4.0)                  | 10(4.7)     | 19(4.3)     | 10(4.3) | 7(3.2) | 17(3.7)    | 37(4.0)     |  |
| 項目    | 前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率) |             |             |         |        |            |             |  |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期          | 3Q予想    | 4Q予想   | 下期予想       | 通期予想        |  |
| 売上高   | 1<br>0.8                | △5<br>△2.2  | △3<br>△0.8  | -       | -      | △9<br>△2.0 | △12<br>△1.4 |  |
| 営業利益  | △1<br>△14.5             | △2<br>△21.2 | △3<br>△18.2 | -       | -      | △0<br>△3.3 | △4<br>△11.1 |  |

#### 3. 業績予想推移

| 項目    | 通期業績予想比較  |           |     | 上期業績予想比較  |           |     | 下期業績予想比較  |           |     |
|-------|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|-----------|-----------|-----|
|       | 今回予想      | 前回予想      | 増減額 | 実績        | 前回予想      | 増減額 | 今回予想      | 前回予想      | 増減額 |
| 売上高   | 906       | 936       | △30 | 441       | 439       | 2   | 464       | 497       | △32 |
| 営業利益※ | 33( 3.6 ) | 43( 4.6 ) | △10 | 15( 3.6 ) | 20( 4.6 ) | △4  | 17( 3.7 ) | 23( 4.6 ) | △5  |

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

17

#### ◇2Q単四半期の概況(減収、減益)

- ・海運、倉庫配送業務において、自動車関連やアパレル関連を中心に堅調。
- ・航空輸出が、スポットの反動減の影響などで減収。
- ・利益面では、人件費など固定費が引き続き増加傾向。

## Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

### F 警備輸送セグメント

1. 2Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

| 項目    | 2020/3期<br>実績 | 前年同期対比   |     |     | 2Q概況  |
|-------|---------------|----------|-----|-----|---|
|       |               | 2019/3期  | 増減額 | 増減率 |   |
| 売上高   | 180           | 179      | 0   | 0.4 | SD機の販売増により、売上高の増加。<br>社員制度改革の影響による人件費増の影響もあり、若干の営業赤字。 |
| 営業利益※ | △0(△0.5)      | △0(△0.2) | △0  | -   |   |

### 2. 単四半期実績・見直し推移

| 項目    | 2020/3期 実績・見直し          |          |           |        |        |        |           | 特殊要因   |
|-------|-------------------------|----------|-----------|--------|--------|--------|-----------|--|
|       | 1Q                      | 2Q       | 上期        | 3Q予想   | 4Q予想   | 下期予想   | 通期予想      |  |
| 売上高   | 184                     | 180      | 364       | -      | -      | 364    | 729       | ・燃油費単価の減少:【営業利益】+1(年間)、+0(上期)<br>・退職金規程変更に伴う影響:【営業利益】+0(年間)、+0(上期)<br>・退職給付数理差異影響:【営業利益】△3(年間)、△1(上期)<br>・賞与支給対象期間の変更に伴う影響:【営業利益】△9(年間)、△9(上期)<br>・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△14(年間)、△6(上期) |
| 営業利益※ | △11(△6.5)               | △0(△0.5) | △12(△3.5) | -      | -      | 0(0.2) | △12(△1.6) |  |
| 項目    | 2019/3期 実績              |          |           |        |        |        |           | 見直し概況  |
| 項目    | 1Q                      | 2Q       | 上期        | 3Q     | 4Q     | 下期     | 通期        |  |
| 売上高   | 180                     | 179      | 359       | 181    | 185    | 366    | 726       | 社員制度改革等、人件費に関連するコストの大幅上昇。人手不足を背景とした料金改定交渉や設定便の効率化などのコスト削減の取組み効果により、7月31日公表時点から、赤字幅は、圧縮見直し。   |
| 営業利益※ | 3(1.8)                  | △0(△0.2) | 2(0.8)    | 3(1.8) | 6(3.3) | 9(2.6) | 12(1.7)   |  |
| 項目    | 前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率) |          |           |        |        |        |           | 見直し概況  |
| 項目    | 1Q                      | 2Q       | 上期        | 3Q予想   | 4Q予想   | 下期予想   | 通期予想      |  |
| 売上高   | 3                       | 0        | 4         | -      | -      | △1     | 2         | 社員制度改革等、人件費に関連するコストの大幅上昇。人手不足を背景とした料金改定交渉や設定便の効率化などのコスト削減の取組み効果により、7月31日公表時点から、赤字幅は、圧縮見直し。   |
| 営業利益  | △15                     | △0       | △15       | -      | -      | △8     | △24       |  |

### 3. 業績予想推移

| 項目    | 通期業績予想比較     |              |     | 上期業績予想比較     |              |     | 下期業績予想比較  |           |     |
|-------|--------------|--------------|-----|--------------|--------------|-----|-----------|-----------|-----|
|       | 今回予想         | 前回予想         | 増減額 | 実績           | 前回予想         | 増減額 | 今回予想      | 前回予想      | 増減額 |
| 売上高   | 729          | 739          | △10 | 364          | 368          | △3  | 364       | 371       | △6  |
| 営業利益※ | △12 ( △1.6 ) | △18 ( △2.4 ) | 6   | △12 ( △3.5 ) | △19 ( △5.2 ) | 6   | 0 ( 0.2 ) | 1 ( 0.3 ) | △0  |

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

18

#### ◇2Q単四半期の概況(収入、利益とも前年横ばい)

- ・SD機の販売増により、売上高の増収要素に。
- ・社員制度改革の影響による人件費増もあり、若干の営業赤字。

#### ◇通期予想概況(対前年:増収、減益)

- ・7月公表の通期予想比較、売上高は下方修正、営業利益は上方修正。

#### 修正理由

- ・社員制度改革等による人件費に関連するコストの大幅上昇に伴い、当初、赤字の18億円を見込むも、人手不足を背景とした料金改定交渉を粘り強く続けた結果や、顧客との協調による設定便の効率化などのコスト削減の取組み効果もあり、7月公表対比、赤字幅は約6億円圧縮見直し。

## Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

### G 重量品建設セグメント

1. 2Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

| 項目    | 2020/3期<br>実績 | 前年同期対比  |     |      | 2Q概況                                 |
|-------|---------------|---------|-----|------|--------------------------------------|
|       |               | 2019/3期 | 増減額 | 増減率  |                                      |
| 売上高   | 138           | 124     | 14  | 11.3 | 日本国内での需要が旺盛な風力発電、シャットダウンメンテナンス工事が伸長。 |
| 営業利益※ | 16(11.6)      | 10(8.2) | 5   | 57.1 |                                      |

### 2. 単四半期実績・見直し推移

| 項目    | 2020/3期 実績・見直し          |            |           |          |        |            |           | 特殊要因  |
|-------|-------------------------|------------|-----------|----------|--------|------------|-----------|---|
|       | 1Q                      | 2Q         | 上期        | 3Q予想     | 4Q予想   | 下期予想       | 通期予想      |   |
| 売上高   | 133                     | 138        | 272       | -        | -      | 227        | 500       | ・燃油費単価の減少:【営業利益】+0(年間)、+0(上期)<br>・退職金規程変更に伴う影響:【営業利益】+0(年間)、+0(上期)<br>・退職給付数理差異影響:【営業利益】△0(年間)、△0(上期)<br>・賞与支給対象期間変更に伴う増支出:【営業利益】△1(年間)、△1(上期)<br>・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△0(年間)、△0(上期) |
| 営業利益※ | 10(7.9)                 | 16(11.6)   | 26(9.8)   | -        | -      | 24(10.7)   | 51(10.2)  |   |
| 項目    | 2019/3期 実績              |            |           |          |        |            |           | 見直し概況   |
|       | 1Q                      | 2Q         | 上期        | 3Q       | 4Q     | 下期         | 通期        |   |
| 売上高   | 124                     | 124        | 248       | 120      | 108    | 228        | 477       | 風力発電の輸送・据付工事やシャットダウンメンテナンスが、下期も継続。<br>火力発電関連工事があるものの、上期に比べ、案件規模縮小見込み。   |
| 営業利益※ | 10(8.6)                 | 10(8.2)    | 20(8.4)   | 15(13.0) | 8(8.0) | 24(10.6)   | 45(9.5)   |   |
| 項目    | 前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率) |            |           |          |        |            |           |   |
|       | 1Q                      | 2Q         | 上期        | 3Q予想     | 4Q予想   | 下期予想       | 通期予想      |   |
| 売上高   | 9<br>7.8                | 14<br>11.3 | 23<br>9.6 | -        | -      | △1<br>△0.6 | 22<br>4.7 |   |
| 営業利益  | △0<br>△0.5              | 5<br>57.1  | 5<br>27.7 | -        | -      | 0<br>0.1   | 5<br>12.8 |   |

### 3. 業績予想推移

| 項目    | 通期業績予想比較    |            |     | 上期業績予想比較   |            |     | 下期業績予想比較    |             |     |
|-------|-------------|------------|-----|------------|------------|-----|-------------|-------------|-----|
|       | 今回予想        | 前回予想       | 増減額 | 実績         | 前回予想       | 増減額 | 今回予想        | 前回予想        | 増減額 |
| 売上高   | 500         | 480        | 20  | 272        | 270        | 2   | 227         | 210         | 17  |
| 営業利益※ | 51 ( 10.2 ) | 43 ( 9.0 ) | 8   | 26 ( 9.8 ) | 22 ( 8.1 ) | 4   | 24 ( 10.7 ) | 21 ( 10.0 ) | 3   |

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

19

#### ◇2Q単四半期の概況(増収、増益)

- ・日本国内で旺盛な風力発電、シャットダウンメンテナンス工事が伸長。

#### ◇通期予想概況(対前年:増収、増益)

- ・7月公表の通期予想比較、売上高、営業利益ともに、上方修正。

#### 修正理由

- ・風力発電設備の輸送・据え付け工事や、シャットダウンメンテナンスが、上期は堅調に推移。下期も、同様の案件が継続することに加え、火力発電関連工事があるものの、上期に比べ案件規模は小さく、対前年では、下期は、若干伸び悩む見直し。

## Ⅱ. 2020年3月期 セグメント概況

### H 物流サポートセグメント

1. 2Q単四半期実績 (単位: 億円、%) ※( )内は営業利益率(%)

| 項目    | 2020/3期<br>実績 | 前年同期対比  |     |      | 2Q概況   |
|-------|---------------|---------|-----|------|--|
|       |               | 2019/3期 | 増減額 | 増減率  |  |
| 売上高   | 1,138         | 1,170   | △32 | △2.8 | 日通キャピタルでのロジスティクスファイナンス事業は、依然好調。日通商事における石油販売単価が下落、ロジスティクス・サポート事業の輸出梱包作業が減少。 |
| 営業利益※ | 30(2.7)       | 30(2.6) | △0  | △0.2 |  |

### 2. 単四半期実績・見直し推移

| 項目    | 2020/3期 実績・見直し          |             |            |         |         |             |             | 特殊要因  |
|-------|-------------------------|-------------|------------|---------|---------|-------------|-------------|---|
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期         | 3Q予想    | 4Q予想    | 下期予想        | 通期予想        |   |
| 売上高   | 1,145                   | 1,138       | 2,283      | -       | -       | 2,464       | 4,748       | ・為替影響: [売上高]+1(年間)、+0(上期)<br>【営業利益】+0(年間)、+0(上期)  |
| 営業利益※ | 27(2.4)                 | 30(2.7)     | 57(2.5)    | -       | -       | 71(2.9)     | 129(2.7)    |   |
| 項目    | 2019/3期 実績              |             |            |         |         |             |             | 見直し概況   |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期         | 3Q      | 4Q      | 下期          | 通期          |   |
| 売上高   | 1,115                   | 1,170       | 2,285      | 1,281   | 1,272   | 2,553       | 4,839       | 日通キャピタルにおけるロジスティクスファイナンス事業の増収は継続。<br>日通商事の中国向け輸出梱包等の取扱い減少、石油販売単価の下落等による減収を見込む。<br>一方、LPガス、リース事業などの増益効果を見込む。 |
| 営業利益※ | 26(2.4)                 | 30(2.6)     | 57(2.5)    | 33(2.6) | 36(2.9) | 70(2.7)     | 127(2.6)    |   |
| 項目    | 前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率) |             |            |         |         |             |             |   |
|       | 1Q                      | 2Q          | 上期         | 3Q予想    | 4Q予想    | 下期予想        | 通期予想        |   |
| 売上高   | 29<br>2.7               | △32<br>△2.8 | △2<br>△0.1 | -       | -       | △89<br>△3.5 | △91<br>△1.9 |   |
| 営業利益  | 0<br>0.8                | △0<br>△0.2  | 0<br>0.3   | -       | -       | 1<br>1.5    | 1<br>1.0    |   |

### 3. 業績予想推移

| 項目    | 通期業績予想比較    |             |      | 上期業績予想比較   |            |     | 下期業績予想比較   |            |     |
|-------|-------------|-------------|------|------------|------------|-----|------------|------------|-----|
|       | 今回予想        | 前回予想        | 増減額  | 実績         | 前回予想       | 増減額 | 今回予想       | 前回予想       | 増減額 |
| 売上高   | 4,748       | 4,888       | △140 | 2,283      | 2,366      | △82 | 2,464      | 2,522      | △57 |
| 営業利益※ | 129 ( 2.7 ) | 126 ( 2.6 ) | 3    | 57 ( 2.5 ) | 58 ( 2.5 ) | △0  | 71 ( 2.9 ) | 68 ( 2.7 ) | 3   |

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

20

#### ◇2Q単四半期の概況(減収、営業利益横ばい)

- ・日通キャピタルでのロジスティクスファイナンス事業は、依然好調。
- ・日通商事における石油単価の下落、ロジスティクス・サポート事業の輸出梱包作業の減少により、減収。

#### ◇通期予想概況(対前年:減収、増益)

- ・7月公表の通期予想比較、売上高は下方修正、営業利益は、上方修正。

#### 修正理由

- ・日通キャピタルにおけるロジスティクスファイナンス事業による増収はあるものの、日通商事の中国向け輸出梱包等の取扱い減少によるロジスティクス・サポート事業が苦戦する予想。
- ・石油販売単価の下落等による減収見直し。
- ・LPガス、リース事業などの増益を見込む。

# I. 2020年3月期第2四半期 業績

## E 外部環境の変化およびその他の変動要素

| 変動要素                      | 連結業績への影響<br>(第2四半期累計)   | 参考  |
|---------------------------|---|---|
| 燃油費単価変動による影響              | 営業利益<br>+ 3.1 億円<br>(費用減)<br>※1Q: △0.6 億円(費用増)<br>2Q: +3.8 億円(費用減)<br>前回予想: +3.7 億円(費用減)                  | 1Qあたりの単価 (前年同期/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 軽油 : 100.89円( 104.71円/97.50円)</li> <li>● ガソリン : 134.99円( 137.50円/136.90円)</li> <li>● 船舶重油 : 53.52円( 55.28円/54.60円)</li> </ul>   |
| 為替による影響                   | 売上高 △ 50.3 億円<br>営業利益 △ 1.6 億円<br>※1Q: 売上高 △23.7 億円<br>営業利益 △ 0.7 億円<br>2Q: 売上高 △26.5 億円<br>営業利益 △ 0.8 億円 | 累計期間平均為替レート※(前年同期/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>● USD : 110.05円( 108.69円/108.90円 )</li> <li>● EUR : 124.32円( 131.64円/123.40円 )</li> <li>● HKD : 14.03円( 13.87円/ 13.90円 )</li> <li>● RMB : 16.20円( 17.09円/ 15.90円 )</li> </ul> ※「累計期間平均為替レート」は、参考値。<br>決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。 |
| 退職給付会計の<br>数理差異償却額の<br>増加 | 営業利益 △ 8.6 億円<br>※1Q: △ 4.3 億円<br>2Q: △ 4.3 億円  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本 : △ 6.9 億円</li> <li>● 警備輸送 : △ 1.5 億円</li> <li>● 重量品建設 : △ 0.2 億円</li> </ul>  |

# I. 2020年3月期第2四半期 業績

## E 外部環境の変化およびその他の変動要素

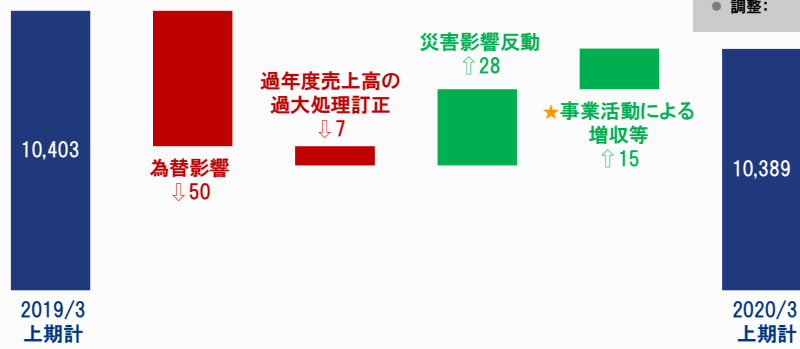
| 変動要素                | 連結業績への影響<br>(第2四半期累計)                         | 参考  |
|---------------------|---|---|
| 災害による影響<br>(前年特殊要因) | 営業利益 + 9.0億円                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : + 9.0億円(2Q)</li> </ul>  |
| 社員制度改革に伴う増減         | 営業利益 Δ 21.2億円<br>※1Q: Δ 9.6億円<br>2Q: Δ 11.5億円 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 14.2億円</li> <li>警備輸送 : Δ 6.8億円</li> <li>重量品建設 : Δ 0.1億円</li> </ul>                |
| 環境投資                | 営業利益 Δ 2.4億円                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 2.4 億円(2Q)</li> </ul>   |
| 賞与支給対象期間の変更の影響      | 営業利益 Δ 46.3億円                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 35.4 億円(1Q)</li> <li>警備輸送 : Δ 9.7 億円(1Q)</li> <li>重量品建設 : Δ 1.1 億円(1Q)</li> </ul> |
| 退職金規程の変更の影響         | 営業利益 + 3.8億円                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : + 3.5 億円(2Q)</li> <li>警備輸送 : + 0.2 億円(2Q)</li> <li>重量品建設 : + 0.1 億円(2Q)</li> </ul>  |
| 過年度売上高の過大処理訂正       | 売上高、営業利益<br>Δ 7.8億円                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : Δ 7.8 億円(2Q)</li> </ul>   |

# I. 2020年3月期第2四半期 業績

## F 売上高・営業利益増減内訳

### 1. 売上高

(億円)



#### ★事業活動による増収等 セグメント内訳

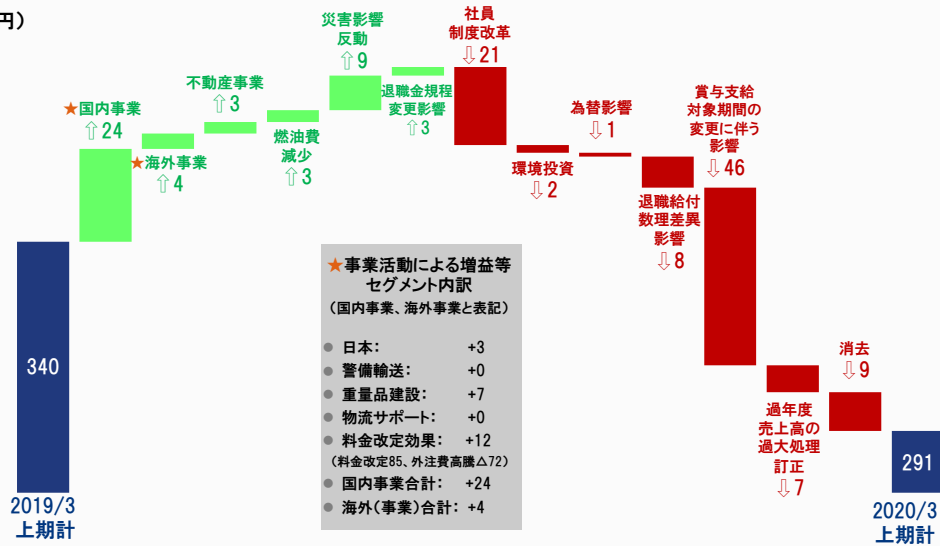
- 日本: Δ75
- 海外合計: +52
- 警備輸送: +4
- 重量品建設: +23
- 物流サポート: Δ2
- 調整: +13

# I. 2020年3月期第2四半期 業績

## F 売上高・営業利益増減内訳

### 2. 営業利益

(億円)



### ◇適正料金收受の取組み

- ・第2四半期累計で、85億円の売上高増加効果、
- 外注費の単価上昇の影響が、72億円となり、増益効果は、12億円と試算。



### Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

#### B セグメント別予想

(単位:億円)(億円未満切捨て)

| セグメント      | 項目      | 上期実績  | 下期予想         |              |      |            |      | 通期予想         |              |      |            |      |
|------------|---------|-------|--------------|--------------|------|------------|------|--------------|--------------|------|------------|------|
|            |         |       | 2020/3<br>予想 | 2019/3<br>実績 | 増減額  | 7/31<br>予想 | 増減額  | 2020/3<br>予想 | 2019/3<br>実績 | 増減額  | 7/31<br>予想 | 増減額  |
| 日本         | 売上高     | 6,103 | 6,304        | 6,410        | △105 | 6,422      | △117 | 12,408       | 12,568       | △160 | 12,618     | △210 |
|            | セグメント利益 | 205   | 287          | 321          | △33  | 286        | 1    | 493          | 559          | △66  | 472        | 21   |
| 米州         | 売上高     | 477   | 459          | 514          | △55  | 522        | △62  | 937          | 986          | △49  | 997        | △60  |
|            | セグメント利益 | 19    | 19           | 20           | △0   | 27         | △7   | 39           | 42           | △3   | 47         | △8   |
| 欧州         | 売上高     | 588   | 610          | 588          | 21   | 634        | △23  | 1,199        | 1,148        | 50   | 1,229      | △30  |
|            | セグメント利益 | 12    | 15           | 15           | 0    | 17         | △1   | 28           | 22           | 5    | 30         | △2   |
| 東アジア       | 売上高     | 559   | 580          | 639          | △58  | 656        | △75  | 1,140        | 1,227        | △87  | 1,210      | △70  |
|            | セグメント利益 | 15    | 15           | 18           | △3   | 19         | △3   | 31           | 30           | 0    | 33         | △2   |
| 南アジア・オセアニア | 売上高     | 441   | 464          | 474          | △9   | 497        | △32  | 906          | 918          | △12  | 936        | △30  |
|            | セグメント利益 | 15    | 17           | 17           | △0   | 23         | △5   | 33           | 37           | △4   | 43         | △10  |
| 警備輸送       | 売上高     | 364   | 364          | 366          | △1   | 371        | △6   | 729          | 726          | 2    | 739        | △10  |
|            | セグメント利益 | △12   | 0            | 9            | △8   | 1          | △0   | △12          | 12           | △24  | △18        | 6    |
| 重量品建設      | 売上高     | 272   | 227          | 228          | △1   | 210        | 17   | 500          | 477          | 22   | 480        | 20   |
|            | セグメント利益 | 26    | 24           | 24           | 0    | 21         | 3    | 51           | 45           | 5    | 43         | 8    |
| 物流サポート     | 売上高     | 2,283 | 2,464        | 2,553        | △89  | 2,522      | △57  | 4,748        | 4,839        | △91  | 4,888      | △140 |
|            | セグメント利益 | 57    | 71           | 70           | 1    | 68         | 3    | 129          | 127          | 1    | 126        | 3    |

#### ◇通期予想概況

- ・ロジスティクス海外は、7月公表の通期予想比較、売上高、営業利益ともに、下方修正。

#### 修正理由

- ・世界経済の減速などによる景気の下押し要因が顕在化し、航空事業を中心とした国際貨物の輸送需要が、予想以上に低迷、回復には、さらに時間がかかると想定。

### Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

#### C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

| 変動要素              | 連結業績への影響<br>(通期予想)  | 参考  |
|-------------------|---|---|
| 燃油費単価変動による影響      | 営業利益<br>+ <b>8.8</b> 億円<br>(費用減)<br>※上期 + 3.1 億円(費用減)<br>下期 + 5.6 億円(費用減)   | 1ℓあたりの単価 (前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>軽油 : 99.70円(104.09円/100.00円)</li> <li>ガソリン : 134.30円(137.30円/132.60円)</li> <li>船舶重油 : 51.60円(55.71円/49.10円)</li> </ul> ※SOX規制に対応する船舶重油の費用増は、含んでおりません。   |
| 為替による影響           | 売上高 △ <b>165.5</b> 億円<br>営業利益 △ <b>5.5</b> 億円<br>※上期 売上高 △ 50.3 億円<br>営業利益 △ 1.6 億円<br>下期 売上高 △ 115.2 億円<br>営業利益 △ 3.9 億円 | 年間平均為替レート※(前期年間平均/前回予想) <ul style="list-style-type: none"> <li>USD : 108.80円(110.43円/111.10円)</li> <li>EUR : 121.50円(130.42円/125.10円)</li> <li>HKD : 13.80円(14.09円/14.10円)</li> <li>RMB : 15.70円(16.72円/16.50円)</li> </ul> ※「年間平均為替レート」は、参考値。<br>決算では、四半期平均レートを各現地通貨ベースの四半期実績に適用。 |
| 退職給付会計の数理差異償却額の増加 | 営業利益 △ <b>17.3</b> 億円<br>※上期 △ 8.6 億円<br>下期 △ 8.6 億円  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 13.8 億円</li> <li>警備輸送 : △ 3.0 億円</li> <li>重量品建設 : △ 0.4 億円</li> </ul>   |

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS, All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

23

#### ◇為替影響

- ・為替は、通期予想で、売上高165億円、営業利益5億円の減少の見通し。
- ・下期は上期以上に、対前年で円高基調であり、影響額が大きくなる見込み。

### Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

#### C 外部環境の変化およびその他の変動要素(予想)

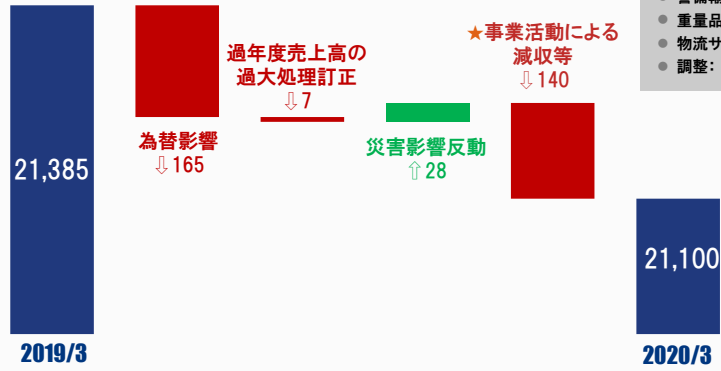
| 変動要素                | 連結業績への影響<br>(通期予想)                            | 参考  |
|---------------------|---|---|
| 災害による影響<br>(前年特殊要因) | 営業利益 + 10.1 億円<br>※上期 + 9.0 億円<br>下期 + 1.0 億円 | (参考) 2019年3月期における影響<br>・災害に伴うお客様工場の稼働停止等による輸送機会損失影響 △24.3億円<br>・代行輸送等による通常以外の輸送対応 +14.1億円                                       |
| 社員制度改革に伴う増減         | 営業利益 △ 48 億円<br>※上期 △ 21.2 億円<br>下期 △ 26.8 億円 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 32.5億円</li> <li>警備輸送 : △ 14.9億円</li> <li>重量品建設 : △ 0.5億円</li> </ul>               |
| 環境投資                | 営業利益 △ 4.7 億円<br>※上期 △ 2.4 億円<br>下期 △ 2.3 億円  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 4.7 億円</li> </ul>   |
| 賞与支給対象期間の変更の影響      | 営業利益 △ 46.3 億円                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 35.4 億円(1Q)</li> <li>警備輸送 : △ 9.7 億円(1Q)</li> <li>重量品建設 : △ 1.1 億円(1Q)</li> </ul> |
| 退職金規程の変更の影響         | 営業利益 + 10.5 億円<br>※上期 + 3.8 億円<br>下期 + 6.6 億円 | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : 9.6 億円</li> <li>警備輸送 : 0.6 億円</li> <li>重量品建設 : 0.3 億円</li> </ul>                    |
| 過年度売上高の過大処理訂正       | 売上高、営業利益<br>△ 7.8 億円                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本 : △ 7.8 億円(2Q)</li> </ul>   |

### Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

#### D 売上高・営業利益増減内訳

##### 1. 売上高

(単位:億円)



#### ★事業活動による減収等 セグメント内訳

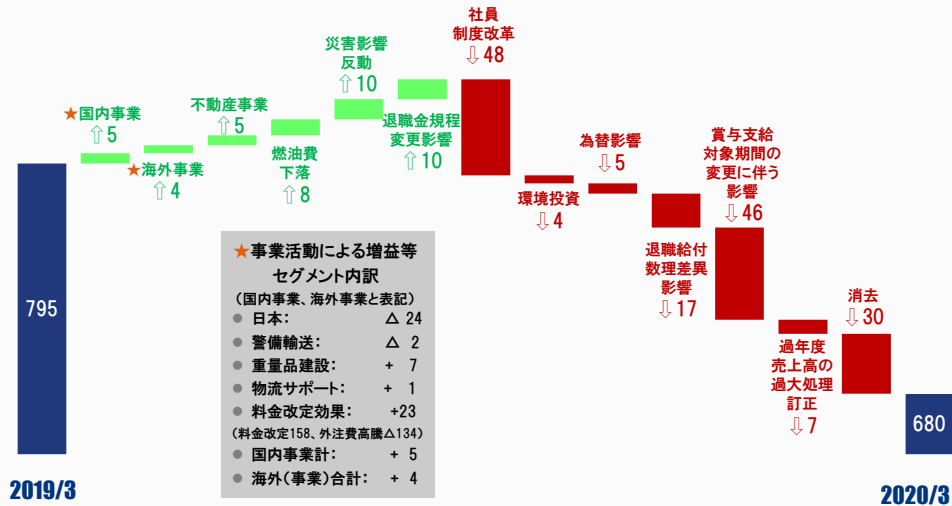
- 日本: Δ180
- 海外合計: + 67
- 警備輸送: + 2
- 重量品建設: +22
- 物流サポート: Δ92
- 調整: +41

# Ⅲ. 2020年3月期 業績予想

## D 売上高・営業利益増減内訳

### 2. 営業利益

(単位:億円)



## 本日の説明内容とポイント

1. 2020年3月期上期業績に関する評価と今後の見通しについて  
日通グループ経営計画2023の進捗について  
代表取締役社長 齋藤 充
2. 2020年3月期第2四半期決算と今後の見通しについて  
取締役 増田 貴
3. 重点産業の進捗と航空事業の見通しについて  
代表取締役副社長  
ビジネスソリューション部門総括 石井 孝明
4. 社員制度改革の今期影響の修正について  
代表取締役副社長  
コーポレートソリューション部門総括 竹津 久雄
5. 支店組織大括り化後のロードマップについて  
代表取締役副社長  
日本事業部門総括 秋田 進

## IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

### A 日通グループ経営計画2023 KPI <コア事業の成長戦略> (10/31修正版)

| 項目<br>(売上高)        | 国内*            |                 | 海外             |                 |
|--------------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
|                    | 2019年3月期<br>実績 | 2024年3月期<br>KPI | 2019年3月期<br>実績 | 2024年3月期<br>KPI |
| 電機・電子産業への取組強化      | 1,150億円        | 1,200億円         | 1,050億円        | 1,450億円         |
| 自動車産業への取組強化        | 800億円          | 1,100億円         | 590億円          | 1,100億円         |
| アパレル産業への取組強化       | 160億円          | 245億円           | 480億円          | 800億円           |
| 医薬品産業への取組強化        | 160億円          | 360億円           | 100億円          | 400億円           |
| 非日系顧客の拡大(GAM・GTA*) | 260億円          | 430億円           | -              | -               |
| 項目(フォワーディング数量)     | 2019年3月期 実績    |                 | 2024年3月期 KPI   |                 |
| 海上フォワーディングの拡大      | 68万TEU         |                 | 130万TEU        |                 |
| 航空フォワーディングの拡大      | 90万t           |                 | 140万t          |                 |

\* 国内実績、KPI数値は、日本通運単体のみ。

\* GAMとは、GAM(Global Account Management) のこと。GTAとは、GTA(Global Target Accounts) のこと。

\* フォワーディング数量は、1月～12月の1年間数量。

#### ◇自動車産業の目標値修正

- ・初期の目標設定において、自動車産業は、セットメーカーのみを対象とし算出。
- ・今回、自動車産業という括りで、部品メーカーも対象として含むこととした。
- ・これに伴い、赤枠のとおり、2019年3月期の実績は、512億円から800億円に修正。2024年3月期のKPIは、900億円から1,100億円に修正。

## IV. 日通グループ経営計画2023 KPI

### B 進捗

| 項目<br>(売上高)            | 国内*              |                |       | 海外               |                |       |
|------------------------|------------------|----------------|-------|------------------|----------------|-------|
|                        | 2020年3月期<br>上期実績 | 2020年3月期<br>予想 | 進捗率   | 2020年3月期<br>上期実績 | 2020年3月期<br>予想 | 進捗率   |
| 電機・電子産業への<br>取組強化      | 525億円            | 1,160億円        | 45.3% | 520億円            | 1,110億円        | 46.8% |
| 自動車産業への<br>取組強化        | 335億円            | 850億円          | 39.4% | 295億円            | 670億円          | 44.0% |
| アパレル産業への<br>取組強化       | 80億円             | 175億円          | 45.7% | 280億円            | 530億円          | 52.8% |
| 医薬品産業への<br>取組強化        | 70億円             | 180億円          | 38.9% | 60億円             | 120億円          | 50.0% |
| 項目<br>(売上高)            | 2020年3月期<br>上期実績 | 2020年3月期<br>予想 | 進捗率   |                  |                |       |
| 非日系顧客の拡大<br>(GAM・GTA*) | 135億円            | 298億円          | 45.3% |                  |                |       |
| 項目<br>(フォワーディング数量)     | 2020年3月期<br>上期実績 | 2020年3月期<br>予想 | 進捗率   |                  |                |       |
| 海上フォワーディングの<br>拡大      | 34万TEU           | 76万TEU         | 47.7% |                  |                |       |
| 航空フォワーディングの<br>拡大      | 36万t             | 76万t           | 47.4% |                  |                |       |

\* 国内実績、KPI数値は、日本通運単体のみ。  
\* GAM: GAM (Global Account Management)。  
\* GTA: GTA (Global Target Accounts)。  
\* フォワーディング数量は、1月～12月の1年間数量。

Copyright © 2019 NIPPON EXPRESS. All rights reserved.

2020年3月期第2四半期 決算説明会資料

29

#### ◇取組みの実績

・電機・電子産業の上期実績は、対前同△5.3%、進捗率は、45.3%。  
マーケットの生産高も減少しており、主だった要因は、中国向けの車載電子部品、  
テレビ用液晶で取扱いが大きく減少したこと、半導体低迷の影響。

・自動車産業の上期実績は、対前同△14.2%、進捗率は、39.4%。  
日本における新車販売台数は、消費増税前の駆け込み需要もあり、増加。  
一方、世界の自動車市場は急減速し、4四半期連続の減少。  
航空事業でこの影響を大きく受け、減収。

・アパレル産業の上期実績は、対前同+5.4%、進捗率は、45.7%。  
日本国内のマーケットは、微増。

・医薬品産業の上期実績は、対前同+1.4%。進捗率は、38.9%。  
2021年の垂直立ち上げまでは、微増継続見通し。

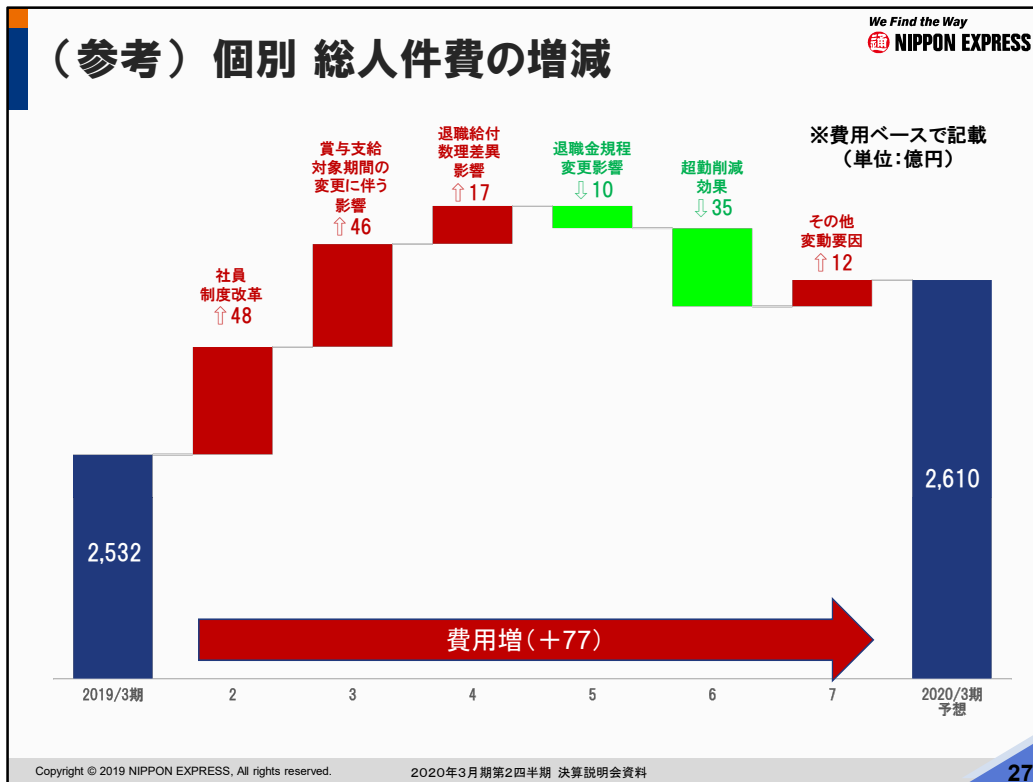
#### ◇航空事業の見通しについて

・IATAの見通しが、昨年12月の発表とは、大きく転換。この半年で大きく減少。  
米中貿易摩擦、ヨーロッパの停滞、アジアの生産停滞が要因。  
・振り返ると、日本の見通しの潮目が変わったのは、5月の連休以降。  
・10月以降の見通しは、リーマンショック直後の航空貨物数量の見込みで、  
対前同15%～20%の減少見通し。



## 本日の説明内容とポイント

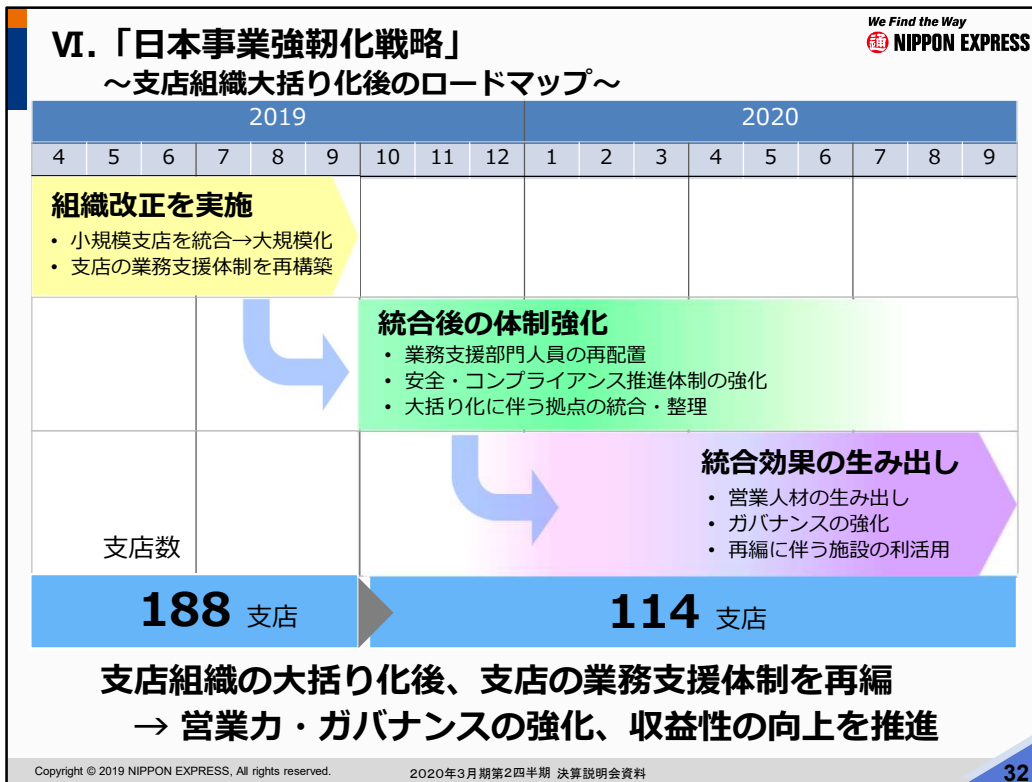
1. 2020年3月期上期業績に関する評価と今後の見通しについて  
日通グループ経営計画2023の進捗について  
代表取締役社長 齋藤 充
2. 2020年3月期第2四半期決算と今後の見通しについて  
取締役 増田 貴
3. 重点産業の進捗と航空事業の見通しについて  
代表取締役副社長  
ビジネスソリューション部門総括 石井 孝明
4. 社員制度改革の今期影響の修正について  
代表取締役副社長  
コーポレートソリューション部門総括 竹津 久雄
5. 支店組織大括り化後のロードマップについて  
代表取締役副社長  
日本事業部門総括 秋田 進



- ・期首見通しでは、社員制度改革の人件費の影響として、80億円の増を見込んでいた。
- ・第2四半期が終了し、個別の実態値の確定を受け、再度精査した結果、第2四半期累計の影響額は、21億円。通期の影響額は、48億円になると想定。
- ・金額が大きく変化した要因は、期首の想定額には、総人件費の増加分を幅広く、制度改革の影響として捉えていた。今回確定した個別の実態値を踏まえ、賞与の水準アップ分などは、通常の人件費の増加として捉えなおした。加えて、定年延長影響を保守的に想定していたことなどによる。

## 本日の説明内容とポイント

1. 2020年3月期上期業績に関する評価と今後の見通しについて  
日通グループ経営計画2023の進捗について  
代表取締役社長 齋藤 充
2. 2020年3月期第2四半期決算と今後の見通しについて  
取締役 増田 貴
3. 重点産業の進捗と航空事業の見通しについて  
代表取締役副社長  
ビジネスソリューション部門総括 石井 孝明
4. 社員制度改革の今期影響の修正について  
代表取締役副社長  
コーポレートソリューション部門総括 竹津 久雄
5. 支店組織大括り化後のロードマップについて  
代表取締役副社長  
日本事業部門総括 秋田 進



◇日本事業強靱化戦略

- ・国内事業の収益性向上を目標とし、営業・事務生産性の向上に取り組む。
- ・10月1日付組織改正を実施。188支店を74支店削減し、114支店体制に、複数の支店を統合。業務支援部門の再編と、営業人材の生み出しが目的。
- ・現時点では、業務の円滑な移行を図るために、人的の再配置は未実施。10月以降、早い段階で、体制に即した人員の再配置を、スピードを上げて実施したい。その他の取組みについても、鋭意進めており、下期に成果を上げていく。

**We Find the Way**



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。